

予算特集号

発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

将来を見据えた区政を確立する 平成25年度予算

4月からの1年間に区が行う事業と、その経費を定めた25年度の予算が決まりました。

新年度予算の内容について、特集で紹介します。

☎ 財政課 ☎(5662)6148

江戸川区の予算規模

区分	平成25年度当初予算	平成24年度当初予算	増減率
一般会計	2,156億2,208万5千円	2,189億3,832万7千円	△1.5%
国民健康保険事業特別会計	723億3,419万5千円	714億4,199万3千円	1.2%
介護保険事業特別会計	331億5,692万7千円	320億3,932万1千円	3.5%
後期高齢者医療特別会計	98億1,971万8千円	95億 910万8千円	3.3%
合計	3,309億3,292万5千円	3,319億2,874万9千円	△0.3%



■次の世代のために積極的な施策で財政危機を克服

平成25年度予算のポイント

- 一般会計に占める福祉費の割合が、初めて50%を超えました
- 特別会計を含めた福祉・健康に関する予算の割合が、75%になりました
- 一般会計において、前年度と比較して増加となったのは、福祉費と教育費のみです
- 教育費は、学校の情報化の推進に係る経費や学校図書を充実するとともに、築50年を経過した小・中学校の改築を引き続き進めます
- 福祉費は、熟年者の増加に伴う社会保障関係経費や、子どもに係る手当、保育関係経費を、継続して充実させます
- 住宅の耐震化の促進など、人命に関わる防災・減災対策を継続します

この危機的局面向け、開するに、23区の中でサービ

を先送りしない財政運

今、我が国では、新

この先、景気の低迷



平成25年度
予算編成にあたって
江戸川区長 埴田正見

未来へつながる 安全・安心の区民生活を を実現する 主な拡充事業



未来を担う人づくり



家庭教育の充実

子ども家庭支援センター事業 (拡)

5,915万円

児童虐待の対応力強化に向けた職員の育成や関係機関との連携強化、啓発事業の実施など、児童虐待防止対策を進めます。また、支援が必要な家庭にボランティアを派遣する「おとなりさん」事業を拡充します。

多様な保育サービスの提供

私立保育園への保育委託 (拡)

72億2,068万円

保育園の定員を増加し、保育の需要増に対

応していきます。また、一時保育事業の実施を10園から14園に拡充し、家庭保育支援の充実を図ります。

21世紀にふさわしい学校教育の推進

学校施設の改築 (拡)

69億3,684万円

築50年を経過し、老朽化した区立の小・中学校を改築します。既に新校舎が完成した1校目の松江小学校に続き、今年度は船堀・第二葛西・春江小学校および松江第五中学校の改築を進め、第三松江・篠崎第三小学校の設計に着手します。また、次期改築校の選定を実施します。

学びと協働による 区民文化づくり



人生を豊かにする生涯学習

新川さくら館の運営管理 (拡)

4,986万円

新川全線の潤いと、地域の活性化につながるまちづくりを創出します。25年7月の開館に向けて準備を進めます。また、指定管理者制度を活用し、柔軟な発想を活かした管理運営を目指します。

図書館の管理運営 (拡)

15億9,302万円

これまで段階的に導入してきた図書館の指定管理者制度を、全館に導入します。これにより、レファレンス機能など、専門性の高いサービスを継続して提供するほか、開館時間

の延長や開館日の拡大、企画イベントの充実など、より効率的で区民本位のサービスを提供していきます。

江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動

公益財団法人えどがわボランティアセンターの支援 (拡)

3,021万円

4月から、23区内では初となる公益財団化を行い、民間管理による柔軟な運営を本格的に展開します。福祉分野に限らず、教育・環境・国際交流など、幅広い分野にわたる活動を支援していきます。

いきいきとした生活のための 健康・福祉の社会づくり



より、自殺防止への関心や意識を地域に広げていきます。

感染症と健康危機への対応

定期予防接種 (拡)

12億8,693万円

生ポリオと三種混合ワクチンの接種から、四種混合ワクチン接種への変更などに対応するとともに、ヒブワクチンなどの予防接種費用の負担を引き続き行います。

食と住の安全性

飼い主のいない猫による環境問題の解決への支援事業 (拡)

300万円

町会・自治会などと合意を得て活動しているボランティア団体へ、飼い主のいない猫への不妊・去勢手術費用の一部を助成します。

高齢の人々の生活支援

緊急通報システムの設置 (拡)

2,660万円

熟年者の安全を確保するためのシステム「マモルくん」利用者の一層の普及を目指して、利用料金の減額要件を一部緩和します。

障害のある人々の生活支援

発達障害支援事業 (拡)

922万円

24年7月に区がまとめた「発達障害」に関する支援方針」に基づき、心理士などの専

門家の派遣を私立の保育園や幼稚園、認証保育所、共育プラザに拡充します。また、発達障害支援会議などの開催による連携強化や、発達障害の早期発見・早期支援につながる事業の充実を図ります。

障害者虐待防止等 (拡)

45万円

通報時の相談や、指導および啓発活動、ヘルプカードの作成・配付を実施します。

区立障害者施設の管理運営 (拡)

20億4,049万円

4月から、希望の家に指定管理者制度を導入するとともに、新館を開設します。

生涯スポーツの推進

国民体育大会(東京国体)の開催 (拡)

3億2,674万円

9月から開催される本大会において、区内でボート競技やラグビー競技(少年男子)、ローラースポーツが行われます。



▲東京では初の開催となるボート競技

活力を創造する 産業づくり



ものづくり産業の活性化

展示会等出展助成 (拡)

60万円

国内外で行う展示会・見本市などへ新規出展する事業者への助成について、その対象を

これまでの製造業から全業種に拡大します。えどがわ産業ナビ(事業所データベース)の機能追加 (拡)

296万円

区が運営している、区内の会社・店舗などの情報を紹介するwebサイト「えどがわ産業ナビ」に、フェイスブックを活用した相互コミュニケーション機能を追加します。

江戸川区名産品の販売促進 (拡)

937万円

区の伝統工芸品や小松菜関連商品などを販売しているネットショップ「えどコレ!」に、えどがわ土産・えどがわギフトのコーナーを創設し、区の名産品を区内外に向けて広くPRします。

若手経営者支援 (拡)

75万円

区内中小企業の若手経営者に対し、講座や



交流会などを開催し、参加者相互のネットワークづくりを支援します。

商業・生活サービス業の活性化

ポイントカード利用促進支援 (拡)

152万円

新規加盟店および新規利用者の増加に向けた取り組みに対し助成します。

若手経営者支援 (拡)

20万円

区内商店街の活性化を目指して、若手の商店経営者を中心としたグループの創設を支援します。年間を通じて実施する交流会や勉強会などにより、区商店街連合会の組織力を強化します。

都市農業の継承

農業産学プロジェクト (拡)

39万円

区内で行う催しで、産学公連携の江戸川産農産物のブランド化に関する研究成果を、弘前大学が発表します。

区民の暮らしを かぶよく支えるまちづくり



都市基盤の充実・質の向上

密集住宅市街地整備促進事業 (拡)

4億2,553万円

木造住宅が密集した地域の住環境を向上させるため、区内9地区で実施している密集住宅市街地整備促進事業を、民間活力の活用な

ど、様々な手法を駆使して、より効果的に進めていきます。

土地区画整理事業 (拡)

10億7,633万円

5地区・62.9haの区画整理事業を着実に進めることで、災害に強い安全・安心なまちづくりを実現します。

私道排水助成 (拡)

589万円

一定の条件を満たす私道の、下水道改修工事に係る経費の1/2を助成します。

利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備

都市計画道路整備 (拡)

22億1,065万円

現在実施している7路線・8か所(5,173m)の道路整備を進めていきます。また、新たに2路線(1,960m)を事業化します。

総合自転車対策の推進 (拡)

12億4,560万円

現在区内5駅で実施しているレンタサイクルを、京成江戸川駅を除く11駅で実施します。これにより、レンタサイクルの合計保有台数

は590台から1,000台となり、更なる自転車利用を促進します。

安全で災害に強いまちづくり

住宅等の耐震化促進 (拡)

4億680万円

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建てられた戸建て住宅やマンションの耐震化への助成を更に進めます。また、個人所有の木造賃貸住宅を新たに助成の対象とします。

橋梁の維持補修 (拡)

3億6,130万円

大規模な地震に対して被害を最小限に抑えるため、耐震補強対策を実施します。また、老朽化した橋梁の維持補修を進めます。

公共下水道の耐震化(受託事業) (拡)

1億7,338万円

地震による液状化発生に伴うマンホール浮上を防止するため、都と連携し、マンホール浮上抑制の対策に向けた工事を行います。

区民本位で効率的な 区政運営等

新公会計制度の導入 (拡)

5,964万円

健全な行財政運営を維持するため、複式簿記を取り入れ、民間企業に準じた会計基準を用いた財務会計システムの構築を進めていきます。27年度からの稼働を目指しており、23区内では初の導入となります。

滞納整理の向上 (拡)

1,442万円

遠隔地に住む滞納者の訪問調査や、連絡が取れない滞納者への訪問納付勧奨を実施し、収納率の向上を図り、税の公平性確保に努めます。

環境啓発・環境教育

環境をよくする運動

3,797万円

中央大会、環境フェア・もったいない運動えどがわ区民大会の開催や、歩きタバコ・ポイ捨て防止活動など、安全で快適なまちづくりへの啓発活動を区民のみなさんと共に行っていきます。

ごみの減量と資源リサイクル

古着・古布リサイクル移動回収

483万円

区内22か所で古着・古布を回収するなど、リユース・リサイクルに取り組み、日本一のエコタウンを目指します。

区民参加による 環境づくり





■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652) 1151(代表) FAX(3652) 1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

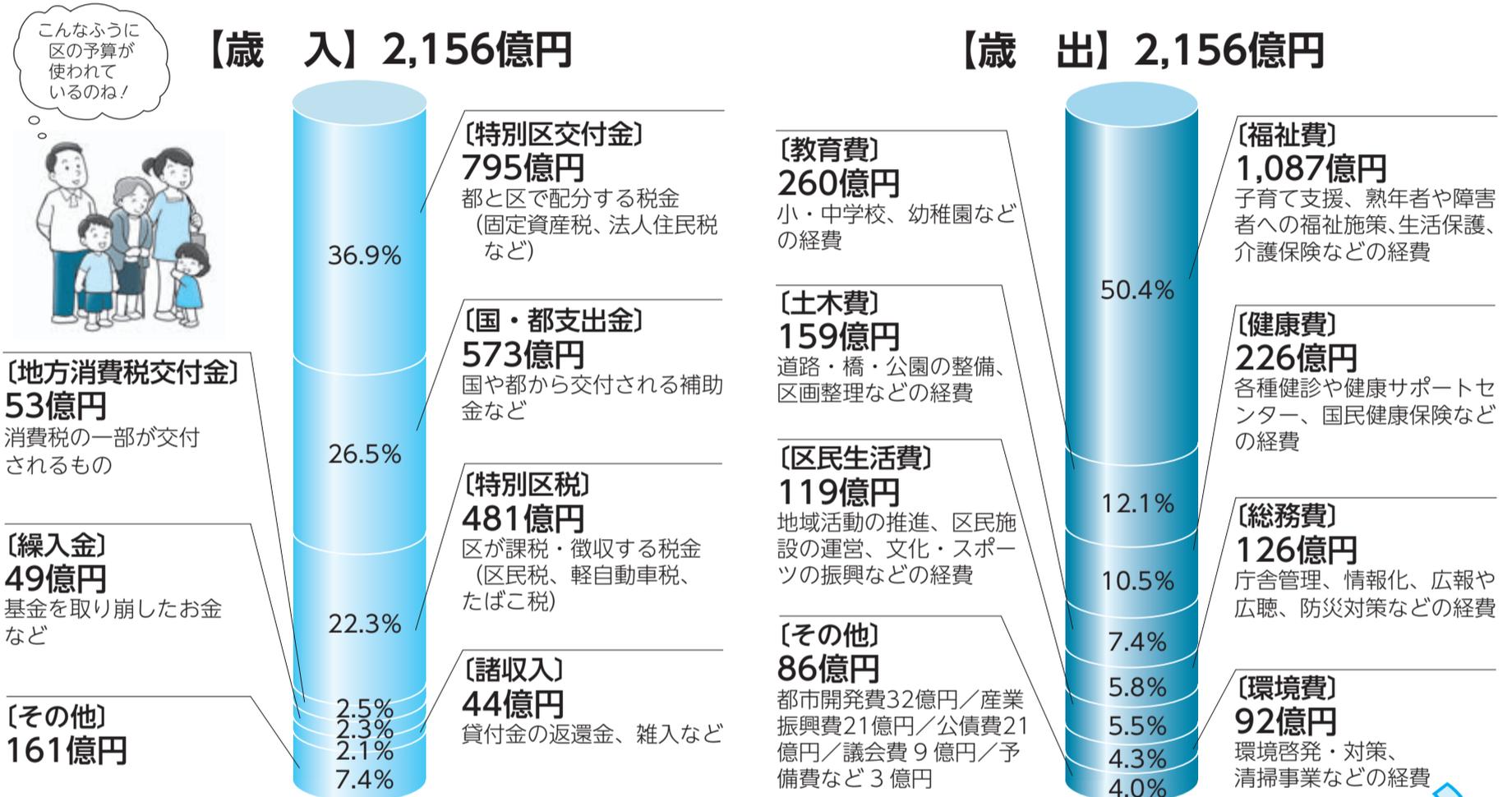
数字でみる 平成25年度予算

区では、区民のみなさんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結する様々な施策を行っています。限られた貴重な財源を区民サービス向上のため、有効かつ適切に活用し、安全・安心の区政を進めます。

☎ 財政課 (5662) 6148

一般会計の内訳

※金額は原則、表示単位未満を四捨五入しているため、合計などと一致しないことがあります。
※構成比は千円単位での比率です。



歳出の 性質別 内訳

項目	金額 (億円)	構成比 (%)
扶助費	821	38.1%
人件費	364	16.9%
物件費	349	16.2%
繰出金	207	9.6%
投資的経費	196	9.1%
補助費等	129	6.0%
その他	90	4.1%

一般会計予算額を1万円に換算すると・・・

熟年者福祉、 障害者福祉、生活保護などに 2,953円	子育て支援などに 2,091円	学校教育などに 1,205円	健康施策、 国民健康保険事業などに 1,050円	道路・公園の整備、 まちづくりなどに 886円
地域活動の推進、 文化・スポーツの振興などに 554円	環境啓発・対策、 清掃事業などに 427円	産業の振興などに 98円	区の借入金の返済に 96円	その他 (区政運営・議会活動) 640円